



くぼたのうけんは、久保田競・カヨ子夫妻が考案した「くぼた式育児法」に基づく育脳プログラムを実践する教室です。記憶力・思考力・判断力といった考える力に影響する重要な脳の領域である「前頭連合野」を、0歳から徹底して鍛えることで、自発的に考え、行動し、問題を解く力をもった人へと成長させるための土台を築くことを目的としています。

脳を育てることは、心を育てること。将来のお子さんの学力だけでなく、まわりの人たちと仲良く過ごせる社会性、音楽や絵画、自然の美しさを楽しめる感性など、これからますます厳しくなる社会の中で、心豊かに幸せになる力を身につけるということです。脳科学と伝統的育児を融合したくぼた式育児法で、「本当に賢い脳」を育てるお手伝いをしていきます。

くぼたのうけんが実践する 久保田式育児法とは

脳を鍛えるって！

「脳を鍛える」というのは、具体的には脳の「前頭前野」をきたえることです。前頭前野は、与えられた膨大な情報をまとめて、どう処理すれば良いかを瞬時に決める重要な部分。そのため、「同時に2つのことを行う」「順序だてて物事を進める」「決断する」などの複雑な行動をするときは、この部分が活発に働いている必要があります。

くぼたのうけんのカリキュラムは、この前頭前野を様々な方法で刺激し、どんどん動かすことを目的としています。前頭前野が鍛えられることによって「考える力」に秀でた子どもが育つのです。



様々な刺激を受けた部分が
その分だけ大きく発達します。

0～3歳が育脳のチャンス！

脳は、生まれた直後から3～4歳ぐらいまでの間で急速に成長し、5歳には成人の脳の85%程度まで発達し終えてしまいます。記憶力・思考力・判断力といった能力を司る脳の最も重要な領域が「前頭連合野」。この部分を赤ちゃんの時期に重点的に鍛えて、しっかりと基礎をつくっておくことが大切です。

